

ケナフを育ててみませんか？

ケナフの種を4月レクリエーション例会において、各委員会へ配布いたしましたので会員・ご家族皆様で、是非育てて下さい。

ケナフの育て方…5月初旬～6月中旬に種をまきます。(以下の手順で)

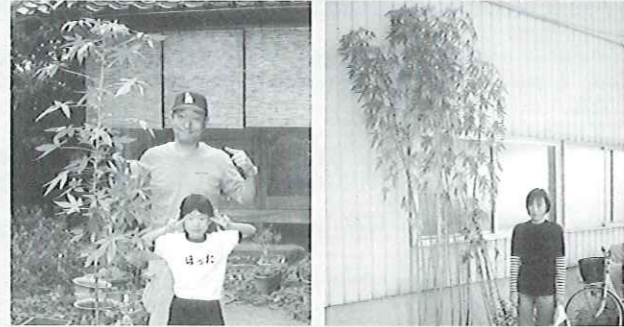
- ①種を水に沈めて選別す。浮かんた軽い種は取りのぞく。
- ②皿にティッシュペーパーを数枚重ね、水を入れる。その上に種を1cm四方に1個程度まく。これを暖かい場所へ置いておくと、2～3日で芽が出る。
- ③発芽した苗は、根を傷めないように土に移植する。間隔は15～20cm。(鉢植の場合は直径20cm以上)
- ④水やりは、土の表面が乾かない程度に。肥料は窒素系の肥料をわずかに加える。
- ⑤2ヵ月くらいで高さ1mに成長するので、風で倒れないように補助の支柱をたてる。

9月初旬から花が咲き始め、1ヵ月咲き続けた後結実します。

《昨年度栽培された実例》

堀田直前会長

門脇副会長



以上、21地球委員会

聞いてごしない Part 17

趣味として、10年ほど前から洋ランの栽培を楽しんでいます。洋ランの愛好家も若い方から年配の方まで幅広く、米子市内でも展覧会が開催されています。

ランとは植物学的には、雄しべと雌しべがくっついているものをいいます。この雄しべと雌しべが融合した器官を蕊柱(ずいちゅう)と呼び、この生殖器官のおかげでランは植物界のなかで最も進化した植物になったとされています。ただし、以前輸入された珍しい植物の中に「～ラン」と命名されたものもあるそうで、その中にはラン科でないランもあるようです。

皆さんがお持ちのランの花の中をそっとのぞいて蕊柱(ずいちゅう)を確認してみましょう。

春には一斉に(品種によりますが)戸外に出し肥料やり、水やり、病害虫に気をつけながら、夏の暑さを凌ぎ秋を迎え開花に備えます。そして開花したときの喜びは経験した事のある方でないとはわからない、まさに至福のときです。

洋ランを育て花をつけることへの期待、花をつけた時の充実感、その達成感ここから仕事、家庭へのパワーも生まれてくる気がします。そして、生き物へ対する労わりかと思いが出てくるのではないのでしょうか。1本の花、1鉢の洋ランと1人の人、この出会いが楽しくなればあなたも洋ランの愛好家です。

展示会で特賞を取る方は洋ラン名人ですが、ランを理解する心のあるのが愛好家です。必ずしも、愛好家＝名人ではないのです。

<ペンネーム紫蘭>

紙面の都合により“What's IT?”のコーナーは休載させていただきます。

コピーをして名簿にお貼り下さい

(newカマーズ)



はいとうひろゆき
 挿藤博幸 B型
 挿藤塗装 代表者
 一般建築塗装
 〒684-0071 境港市外江町2258-3
 TEL 44-2319 FAX 44-2319
 (KT) 090-4652-8637 (EM)
 H13.04入会
 (推薦者) 湯原(後) 白宅 境港外江町2258-3
 潮(邦) 〒684-0071 S.46.3.17 TEL 44-2319

(コメント)

この度は青年中央会に入れていただき誠にありがとうございます。中央会の活動を通じ仕事、精進、全てにおいて飛躍して行きたいと思っております。未熟ものの私ですが中央会の名に恥じないよう一生懸命がんばりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(newカマーズ)



まつえともお
 松江智雄 O型
 松江鮮魚店
 鮮魚小売
 〒683-0812 米子市角盤町1-122
 TEL 22-3916 FAX 34-2151
 (KT) 090-1681-6524 (EM) sakanay@mb.infoweb.ne.jp
 H13.04入会
 (推薦者) 松本(英) 白宅 米子市南三柳4497-5
 足立(徹) 〒683-0853 S.40.10.8 TEL 24-5869

(コメント)

様々な職種の方々色々な情報をやりとりしてお互いの仕事に大きくプラスとなるようにがんばります。よろしくお願ひ致します。

連絡事項

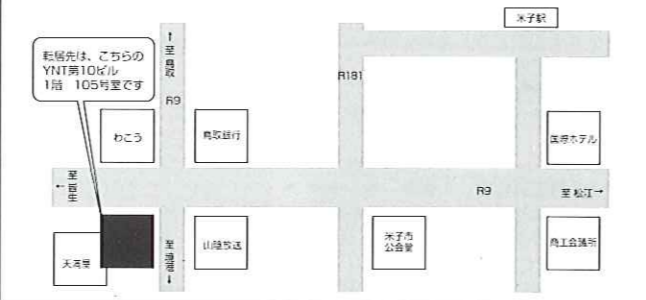
事務所移転のご案内

植田寿雄会員の事務所が下記へ移転になりました。

有限会社インサイト

新住所/米子市西福原2丁目1番1号 YNT第10ビル105号室

※TEL・FAXは変更ありません



5月例会案内

とき 平成13年5月16日(水) 18:30～
 ところ 境港シンフォニーガーデン
 内容 ・臨時総会
 ・トライアスロン検討会発表会
 担当 総務委員会

5月役員会報告

5月定例役員会が平成13年5月1日(火)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通りです。

- 議 題 ①5月例会(臨時総会)、6月例会開催の件
 ②収支見込みの件
 ③その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

編集後記

“春眠暁を覚えず”そろそろ会員の皆さん目を覚ましましょう。

春夢を見ている暇はないですよ。

ゴールデンウィークも終わり、家庭サービスで疲れが出はじめていませんか？

今年度もあと2ヵ月余りとなり、次年度に向けて体も気持ちも十分引き締めて皆さんがんばりましょう。

「英知を養う」「フィロソフィア」

2001.5
No.163

Hands&me

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 土井一朗 編集責任者 浜 義徳 印刷所 東京印刷㈱

会長より会員の皆様へ 「志と実学」(その3) 完結

“凡人に勝ち方あり”

志

会長 土井 一朗

第3章 不況に勝つ(唯一の味方は社員)

◆今こそ中小企業の時代 そして社員と共に生きる

20世紀はモノ造りの時代→いかに安くして良い品物を広い範囲で売ることが求められる時代でした。つまり大量生産、大量販売の大企業が栄え、強い世紀であったといえます。それに対して21世紀は心の満足の時代→物的な満足の追求は終わり、気がついてみれば経済至上主義のあまり、環境問題・世界各地での紛争・教育の荒廃(学術的な勉強ではなく人としていかに生きるべきか。道徳・礼儀・哲学がなごりにされた)が残り、これを解決していく時代でしょう。商売としては多様なニーズが存在する時代であり、感性と創造力でコンセプトを造り短いスパンでスクラップandビルドを行っていく、小廻りのきく強い会社が生き残ってゆくのです。つまり21世紀は中小企業の時代なのです。

経営者であれ、企業幹部であれ、社員であれ、一日の大半を会社ですごします。ということは、一年の大半を、人生の多くの時間を会社とともに過ごすのです。自分の会社が好きではない、仕事が辛くてたまらないではこんな不幸な人生はないでしょう。我々は縁あって共に仕事をしています。社員と本音で語り本気で向き合い、共に手を携えて行くことが出来れば、強い会社を実現するでしょう。そしてこの不況の中生き残っていくことができると信じます。

◆カッコイイ経営者となる

我々は毎日仕事に追われる日々ですが、経営者がそうですから幹部社員も同じでしょう。しかし、若い社員はそれを見て憧れを抱くことができるでしょうか。「この会社で頑張って、10年後には部長のようにになりたい」と思うのでしょうか。時代は変わりました。若い社員の心を掴むことは、時代の心を掴むことであり、お客様のニーズを掴むことに通じるでしょう。仕事だけではなく、人間としての哲学を持つ、プライベートにおいても素晴らしいライフスタイルを持つ(家族との旅行や家を持つ夢、自分の人間性を豊かにするため芸術や自然にふれる、趣味を持つ)そして仕事も頑張り人生も楽しんでいる姿を見ることで、若い社員はついてくるはずですよ。

実学

第3章 中長期経営計画を作ろう(簡単なものでいい)

我々中小企業の経営者のうち驚くことに自分の会社の業績、資金繰りを数字で掴み経営計画を作成している社長は実は少ないのです。せいぜい三割ぐらいでしょう。ほとんどの経営者は決算書すら読めないのです。これが現実です。これでは勝てないのは当たり前です。なぜなら経営計画書とは「わが社の生き残るため」の道具なのです。

◆わが社が生き残るために

- いくらの儲けが必要なのかを数値で掴み(利益計画)それを成し遂げるために
- 何を(商品)何処に(お客様)いくらかで(価格)誰が(営業)売するのか(販売計画)を決め
- その資金はどのように調達し運用するのか(資金運用計画・目標バランスシート)をトップが戦略的に打ち出すこと
- 月次で、計画と実績の差をチェックし、経営を先手先手で行う

最後に儲けができれば社員を喜ばす事ができます。50%は税金を払いますから、その税金の使われ方にも関心がゆき、国の運営、日本国の将来にも大きな関心と責任感が生まれるでしょう。つまり素晴らしい経営者となれるのです。

4月レクリエーション例会報告

4月15日(日)、晴天の下、大山町農村民環境改善センタートレーニングセンターにてレクリエーション例会が開催され、会員とその家族約200名が参加し一日を楽しく過ごした。当日は初夏を思わせるほど燦々と陽が射す絶好の運動会日和となった。

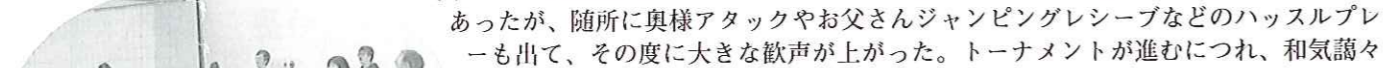
堀田直前会長の開会宣言、そして土井会長の開会挨拶。山内OBの来賓挨拶後は志委員会釜田委員長の選手宣誓と続き、宮崎会員による準備体操を行って、レクリエーション大会が始まった。



午前中は運動場でグランドゴルフの委員会対抗戦が行われ、全8委員会より6人編成で各2チームが参加し、計16チームが運動場一杯に熱戦を繰り広げた。老若男女が入り混じった試合は、始めてプレーする人も多く、思い掛けない方へボールが飛んだり、教えきれないほど打ったりで会場は終始笑い声に包まれた。中には日頃鍛えたパットの腕を発揮しホールインワンで拍手喝采を浴び、妻子を前に面目躍如といった会員の姿もあった。

昼には屋台がフル回転。やきそば、フランクフルト、焼き鳥に、サザエまで出て大盛況。ビール飲み放題で大人は一気に盛り上がり、子供はアイスの配布に一齐に走って群がった。昼食後、子供たちはストラックアウトや風船釣りに熱中した。

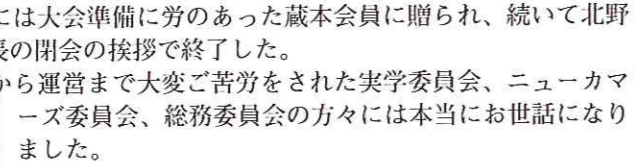
午後は体育館でソフトバレーの対抗戦が行われ、各委員会より6人編成のチームが参加しトーナメントが行われた。会員と奥さん、子供の混成チームは、サーブが入るかどうかが勝敗の分かれ目といった感もあったが、随所に奥様アタックやお父さんジャンピングレシーブなどのハズルプレーも出て、その度に大きな歓声が上がった。トーナメントが進むにつれ、和気藹々のレクリエーションから必勝ムードの対抗戦へと変わり、決勝戦は気合いの入った熱戦となった。



バレーの後、会員がグラウンドを一斉清掃し、その間に子供たちはおもちゃが当たるピングゲームを楽しんだ。

朝から夕方まで存分に楽しんだレクリエーション大会は、土井会長挨拶の後、成績発表と表彰式が行われ、副会長賞、直前会長賞、県会長賞が奥様たちに、会長賞には大会準備に労のあった蔵本会員に贈られ、続いて北野副会長の謝辞、堀田直前会長の閉会の挨拶で終了した。

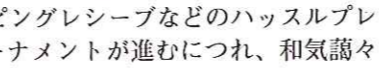
最後に例会の企画、準備から運営まで大変ご苦労をされた実学委員会、ニューカマーズ委員会、総務委員会の方々には本当にお世話になりました。



午前中は運動場でグランドゴルフの委員会対抗戦が行われ、全8委員会より6人編成で各2チームが参加し、計16チームが運動場一杯に熱戦を繰り広げた。老若男女が入り混じった試合は、始めてプレーする人も多く、思い掛けない方へボールが飛んだり、教えきれないほど打ったりで会場は終始笑い声に包まれた。中には日頃鍛えたパットの腕を発揮しホールインワンで拍手喝采を浴び、妻子を前に面目躍如といった会員の姿もあった。

昼には屋台がフル回転。やきそば、フランクフルト、焼き鳥に、サザエまで出て大盛況。ビール飲み放題で大人は一気に盛り上がり、子供はアイスの配布に一齐に走って群がった。昼食後、子供たちはストラックアウトや風船釣りに熱中した。

午後は体育館でソフトバレーの対抗戦が行われ、各委員会より6人編成のチームが参加しトーナメントが行われた。会員と奥さん、子供の混成チームは、サーブが入るかどうかが勝敗の分かれ目といった感もあったが、随所に奥様アタックやお父さんジャンピングレシーブなどのハズルプレーも出て、その度に大きな歓声が上がった。トーナメントが進むにつれ、和気藹々のレクリエーションから必勝ムードの対抗戦へと変わり、決勝戦は気合いの入った熱戦となった。



バレーの後、会員がグラウンドを一斉清掃し、その間に子供たちはおもちゃが当たるピングゲームを楽しんだ。

朝から夕方まで存分に楽しんだレクリエーション大会は、土井会長挨拶の後、成績発表と表彰式が行われ、副会長賞、直前会長賞、県会長賞が奥様たちに、会長賞には大会準備に労のあった蔵本会員に贈られ、続いて北野副会長の謝辞、堀田直前会長の閉会の挨拶で終了した。

最後に例会の企画、準備から運営まで大変ご苦労をされた実学委員会、ニューカマーズ委員会、総務委員会の方々には本当にお世話になりました。

対抗戦の結果は以下の通り

- グランドゴルフ
- <優勝> ニューカマーズ
- <準優勝> 志
- <3位> 21地球
- <4位> 広報
- <5位> 総務
- <6位> 情報メディア
- <7位> 政治・地域ビジョン
- <8位> 実学

- ソフトバレー
- <優勝> 志
- <準優勝> 政治・地域ビジョン
- <3位> 広報
- <敗者優勝> 情報メディア

トライアスロン検討委員会

今回は、現在おそらく中央会内で最も熱い委員会の一つであらうトライアスロン検討実行委員会についてレポートしたいと思います。

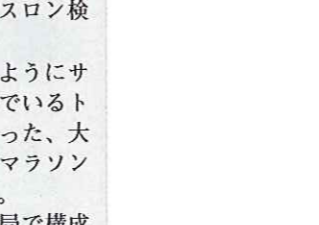
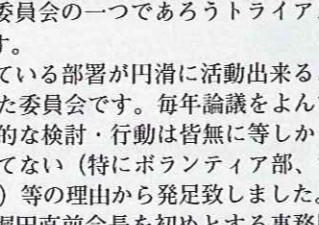
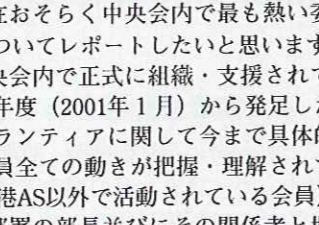
当委員会は中央会内で正式に組織・支援されている部署が円滑に活動出来るようにサポートする、今年度(2001年1月)から発足した委員会です。毎年論議をよんでいるトライアスロンボランティアに関して今まで具体的な検討・行動は皆無に等しかった、大会当日中央会会員全ての動きが把握・理解されていない(特にボランティア部、マラソン部、河端AS、境港AS以外で活動されている会員)等の理由から発足致しました。

メンバーは各部署の部長並びにその関係者と堀田直前会長を初めとする事務局で構成されています。活動内容は大体月1回のペースで検討会を開いており、各部署が現在抱えている問題点や要望の洗い出し、各部署の大会当日までの運営スケジュールの進捗状況の確認、時には3〜5年後を見据えた中長期的な方向性についての話まで毎回3時間近く熱くかつ内容の濃い討議が続いています。たまに話が脱線してここではとても書けないような内容の裏話も有り、瞬く間に時間が過ぎていく検討会でもあります。また5月例会での発表を控え、その企画運営・準備とますます活動の規模を広げて行っています。

活動成果と致しまして今年度トライアスロン検討実行委員会が発足して、今まで中央会会員が正式に認知されていないものの深く関わっていた組織(交通警備部、輸送部、水泳部等)の部長・副部長が正式に中央会に認知された事、大会当日の部署別メンバー表が作成された事で中央会会員が何処で何を担当しているか一目で理解出来るようになった事が挙げられます。

最後になりましたが5月16日に境港シンフォニーガーデンで行われる例会にはぜひ参加して頂き、発表会を聞いて各会員がトライアスロンボランティアや中央会とトライアスロンとの関わり方等を感じ取って欲しいと思います。

そして7月29日に行われる第21回全日本トライアスロン皆生大会には全会員がボランティアに参加して、会員一人一人の力で大会を成功に導いて行って欲しいと願っています。



21地球委員会

平成13年4月9日(月) 於：米子食品会館 出席者/12名

今回の委員会は、講師に鳥取県立大山自然の家指導係長鷺見寛幸氏を迎え、「私たちと森〜子どもたちに伝えたいもの」という演題で講演していただいた。

先ず、氏はスライドを用い、インドネシアの、植生分布上「熱帯多雨林」に当てはまる森を紹介された。

スライド終了後はわが国の森(照葉樹林・落葉広葉樹林)に話が移り、ブナ林で有名な白神山地のことが紹介された。「極相林(*下記参照)」を形成する白神の森は、「緑のダム」としての高い保水力に代表されるような物質循環構造を遺憾なく発揮している。

また、われわれの生活の基盤となっている鳥取県西部を代表する国立公園大山には照葉樹林と落葉広葉樹林が絶妙なバランスで混在しているばかりか、3合目から6合目にかけて極相林が形成されているということが紹介された。

(*)【遷移ならびに極相林】ある一定の場所にある植物群落は、時間の経過につれて徐々に別の群落にかわり、比較的安定な群落(極相/climax)へ向かって変化していくことを遷移という。溶岩台地のような完全な裸地から始まる遷移を一次遷移といい、森林の伐採地や放棄された畑などから始まる遷移を二次遷移という。陸上における遷移には岩石地などから始まる乾性遷移と、湖沼などから始まる湿性遷移がある。通常の乾性遷移では、最初、岩石地に地衣類(菌類と藻類が共生してできた植物。岩石や樹皮の表面に付着育成する。)やコケ植物が侵入し、その後ススキやイタドリのような草本植物が育成する。次いでマツなどの陽樹がとってかわり、ついにカシヤシイなどの陰樹が茂り、極相林に至る。一次遷移の場合、極相に到達するには一千年以上かかり、二次遷移でも極相林が発達するには二百年以上かかるといわれる。

講演の最後に氏が力説されたことは、「長い営みの結果もたらされた肥沃な森、もっと大きく括れば自然そのものに畏敬の念を持ちながら、上手に付き合っていく術をわれわれの子や孫の世代に伝えていこう。」というものであった。

志委員会

平成13年4月9日(月) 於：ホールサムイン皆生 出席者/10名

(1) 6月発表会(中海TV収録)に向けた準備
①シナリオ担当より、全体企画案と進行表の原案が提出され、これに基づき委員会としての総括を概観した。
②役割分担の確認

出演パネリスト : 門脇、釜田、岩田、桑垣、市位、島山
シナリオ : 島山
カメラ : 小原、植田
パネル等道具作成 : 植田、林、中原

③発表内容はシナリオのたたき台を参考に各自検討のこと
④4月中にもう一度検討会を開く(中ノ森会員出席) 4月20日(金)開催

newカマーズ委員会

平成13年4月10日(火) 於：米子食品会館 出席者/20名

新入会員2名、拝藤博幸さん、松江智雄さんの自己紹介と、仕事の都合上やむを得ず退会される角田会員より挨拶。今後の新しく入会された方の活躍と、角田さんの将来再入会をご期待いたします。

ビデオで総会、例会、トライアスロンの模様や、発表会や25周年事業の打ち合わせ風景、メイキングビデオなどを観て、本年度当委員会が製作する新入会員オリエンテーションビデオをどういった内容にしたらよいか、感想や意見が寄せられた。

情報メディア委員会

平成13年4月6日(金) 於：米子食品会館 出席者/10名

IT関連をテーマとしたメンバータイムでは、徳中・松本会員に続き、土井会長に自社のリクルート活動とそれに伴うホームページ作成の苦労話をしていただいた。

今回は講師はなく、4月のレクリエーション例会での役割分担と、6月例会の打ち合わせ、トライアスロンの所属の確認を行った。6月例会での発表は、委員長の試案と、それに対する中ノ森・中津尾コーディネーターのコメントをふまえて、どういう形式にするのかを討議の上、最終決定。30分という時間の中で、3つのテーマを詰め込むのは無理があると判断し、発表では「協業サイト・メーリングリストの普及と活用」のみに絞り、その他のテーマについては、委員会報告書にまとめることに決まった。また、協業サイト、メーリングリストともに立ち上げ直後なので、6月例会まで各会員レベルでの普及活動が重要であることを確認した。

広報委員会

平成13年4月4日(水) 於：米子食品会館 出席者/10名

ハンサム5月号の企画、編集、紙面割りについて

政治・地域ビジョン委員会

平成13年4月4日(水) 於：ホールサムイン皆生 出席者/13名

サービス部門担当(久古・清水・清川・奥森)
※旅行者から見たソウル定期便就航の影響について

1. 米子〜ソウル就航開設二週間の現状は、実際のところ心配をしていたが、何とか全席満席になったのでほっとした現状だった。旅行者としての集客手段は、ツアー等で旅行される方々を中心に、多量なりと気持ちだけのプレゼントなどを用意し配布しなければ集客力にかけて、不採算航路となってしまわないかと心配である。

一方、海外からの受け入れ国である日本国米子空港周辺観光サービス業界は…
2. 今後の対応策等

A. 米子〜ソウル間の就航をどの様に観光・レジャーに結び付けられるか?のことから、皆生温泉だけとってみれば、地域に滞在型レジャー施設が必要であることと、それに対し旅館業も部屋数を多くした都会型ルームを導入してシングルユースできる宿泊施設を形成することで集客力をつけなければ成らないと思われる。上記のことは、ソウル便就航にかかわらず今後日本国内のお客さんに対しても言えることではないか。

国内の旅行者に目を向けても、地元のお客さんのリピーターをいかに増やして行くか、なおかつ、日本全体の不況感を無くすことでレジャー主体の観光客が増加し、皆生温泉自体も潤って来るのかもしれない。

今回のサービス部門委員会は、皆生温泉の今後という形での進行になったが、他環境整備が成されて行く中、皆生温泉旅館業界自体が国内外問わず、魅力に思っていただけの施策を打ち出して行き、(現代にマッチした形のものを)それをどんな形でPRして行くかが問題であるように思えた。

実学委員会

平成13年4月10日(火) 於：米子コンベンションセンター 出席者/13名

平井知行氏(鳥取県教育委員会事務局文化課妻木暁田・青谷上寺地遺跡整備室長)を講師にお迎えし、「妻木暁田遺跡保存活用基本構想の概要」と題してご講演いただいた。

(基本構想のわらい)
○妻木暁田遺跡は、弥生人の社会や暮らしぶりを大きな空間の広がりの中で捉えることができ、周囲には豊かな自然が色濃く残っている極めて貴重な歴史的遺産。

○未来への遺産として適切に保存、歴史環境を体感・体得できる、地域の振興・活用策に資する。
○青谷上寺地遺跡等も含め、より広い視点で計画を考える必要がある。

(保存活用の基本理念)
1. 我が国最大級の弥生時代のムラのたたずまいと、そこに暮らしの人々の息づかいを体感・体得できる、歴史学習ならびに弥生時代の研究の場とする。
2. 環日本海諸国の遺跡との関わりを調査研究を通して、本県の歴史的・地理的特性を国内外に発信できる史跡とする。
3. 県民を始め多くの人々にとって、豊かな自然の中で歴史の流れを感じられる憩いの場となることを目指す。
4. 先行して計画されている向古古墳群、上院庭寺跡の整備事業との整合や、周辺観光施設とのネットワーク化等、地域と一体になった振興策ともなるよう検討する。

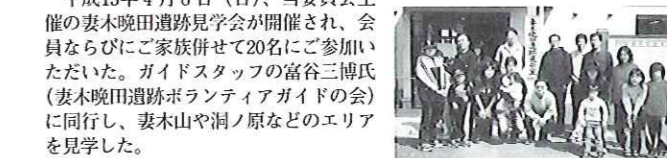
今月の委員会ならびに先行の見学会にて特に感じたことは、遺跡の存在は知りつつもその実態は知らないという現状である。県西部に住む我々でさえそうであるから、全県・全国レベルでは言わずもがなである。古代人が築いた財産を周知のものとし、有効活用していくことは、県西部に生きる我々に課せられた大きな課題であるのかも知れない。

■妻木暁田遺跡見学会
平成13年4月8日(日)、当委員会主催の妻木暁田遺跡見学会が開催され、会員ならびにご家族併せて20名にご参加いただいた。ガイドスタッフの富谷三博氏(妻木暁田遺跡ボランティアガイドの会)に同行し、妻木山や洞ノ原などのエリアを見学した。

妻木暁田遺跡は、30基以上の埴丘墓や900棟余りの建物跡を有する国内最大級の弥生時代の集落跡である。その規模は170haもの広さを誇り、九州吉野ヶ里遺跡を悠に凌ぐ。

実際に見た遺跡は、風化防止のために堅穴住居遺跡がシートで覆われ、柱の跡(地面に無数に空いた穴)は土で埋められ、四隅突出型埴丘墓には盛土をした上にレブリカが復元されるなど、写真で見ると遺跡とは趣を異にするものであった。

今後は住居跡に実物大の堅穴式住居が復元される予定であり、調査研究施設のみならず観光施設としての整備発展も期待される。



今後は住居跡に実物大の堅穴式住居が復元される予定であり、調査研究施設のみならず観光施設としての整備発展も期待される。

総務委員会

平成13年4月4日(水) 於：米子食品会館 出席者/11名

4月レクリエーション例会について
15日の例会に必要な備品・準備等の確認を行った。
又実学委員会のメンバー(委員長、副委員長他)も参加して15日の例会の打ち合わせを行った。